

決算報告

平成十七年三月一日に合併し、那賀町となって初めての通年決算ができました。

歳入にしましては、自主財源は二〇%、依存財源が八〇%と大部分が依存財源にたよっている状態です。その内町税は六・一%の比率です。歳入の大部分を占める地方交付税は、合併による特別交付分もあつたので、前年度と比べると大幅な減額にはなっておりませんが、平成十四年度の額と比較しますと、国の三位一体の政策等により五億四千万円の減額になっています。

又、平成十九年度からは、算定方法も面積よりも人口を重視する方法に変わることもあり、人口減の続く本町では、増額の見込みはありません。

歳出にしましては、十七年度は借金の返済に充てるための公債費が高い割合を占めています。これはケーブルテレビ事業や旧町村時に執行

した事業が多かつたため、この状態はしばらく続く見込みです。

投資的経費の比率は類似団体に比べると本町は非常に高い率になっておりますが、十六年度発生の災害復旧事業や林道開設事業等の継続事業が多かつたからです。

これからは、より一層事業の厳選を行い、早急に必要事業を優先することで、町債の発行を抑制し、人件費や扶助費など義務的経費の見直しを継続して進めなければなりません。

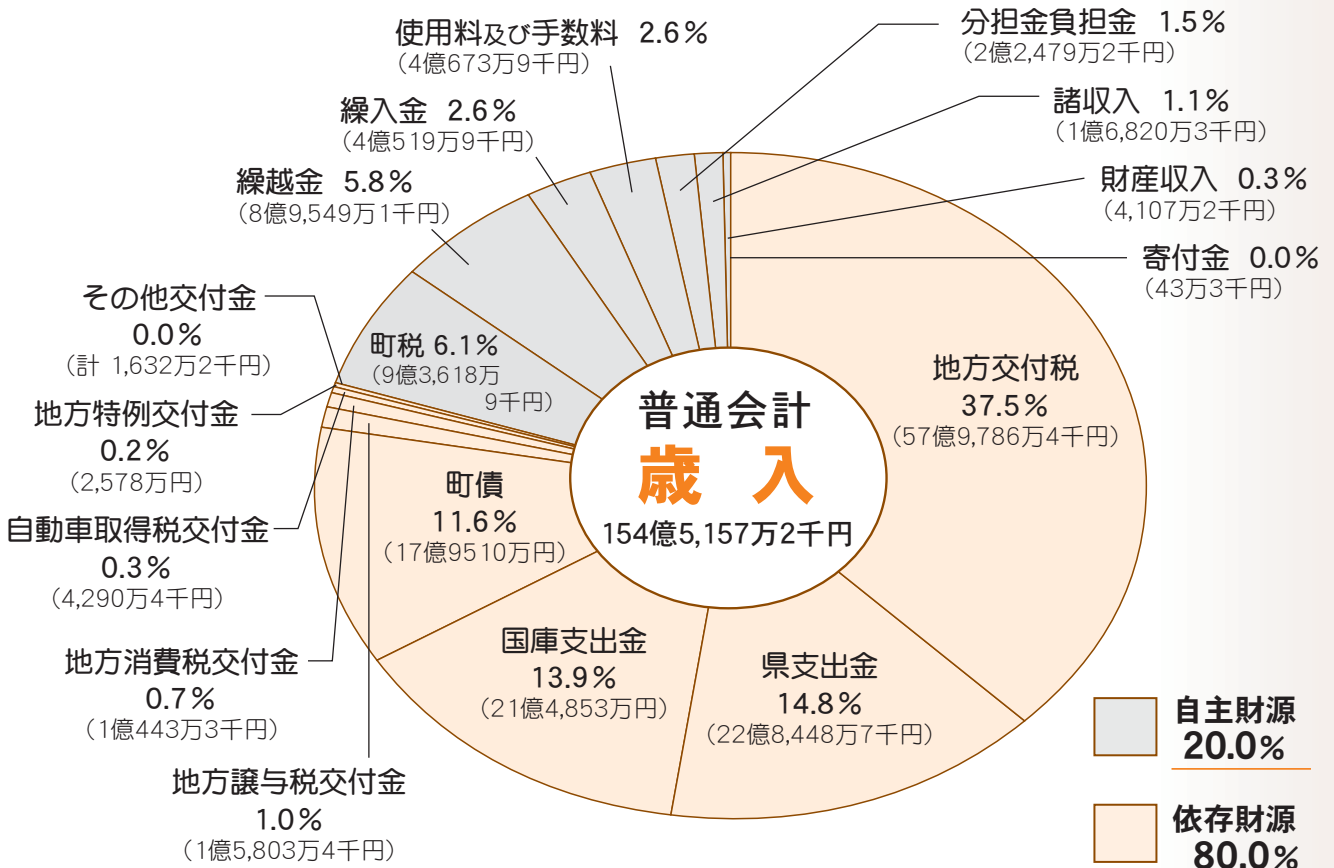
国の主導による改革の影響で、さまざまなサービスも、地方や住民で痛みを分け合う形がより進むものと思われま

す。これからの、健全な町財政の確立のため、努力してまいりますので町民のみならずご理解とご協力をお願いいたします。

決算状況

《 普通会計＝一般会計＋ケーブルテレビ事業会計 》

歳入 154億5,157万2千円

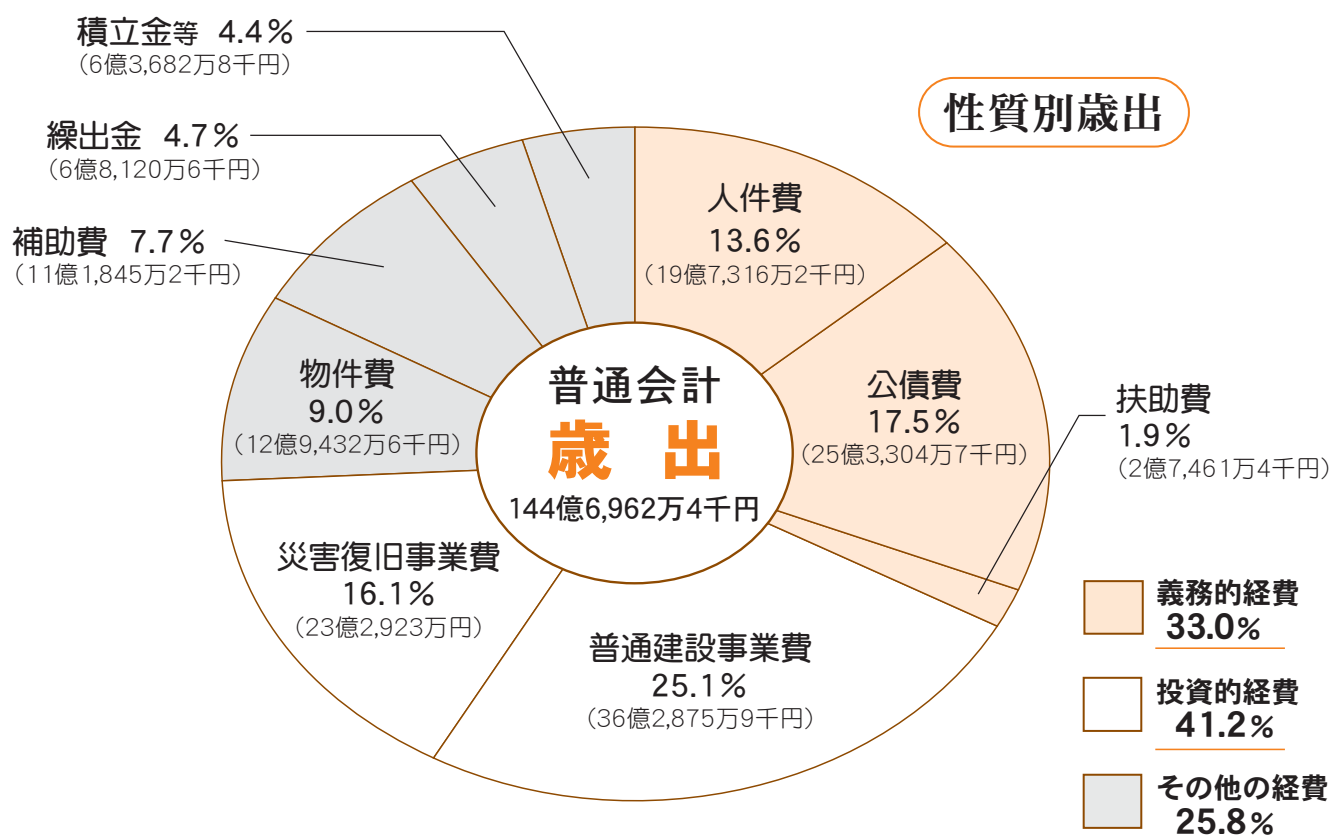


平成18年度 普通会計決算

目的別歳出

公債費 17.5% 25億3,304万7千円	農林水産業費 17.1% 24億7,415万8千円	災害復旧費 16.1% 23億3,035万5千円	
総務費 15.4% 22億2,489万9千円	土木費 8.7% 12億6,135万9千円	民生費 8.4% 12億951万6千円	教育費 7.7% 11億1,539万3千円
衛生費 4.2% 6億1,127万2千円	消防費 3.2% 4億5,797万円	議会費 0.9% 1億3,413万1千円	商工費 0.8% 1億1,752万4千円

歳出 144億6,962万4千円



平成17年度 那賀町決算

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
普通会計(一般会計+ケーブルテレビ事業会計)	15,451,572	14,469,624	981,948
国民健康保険事業	1,214,004	1,013,330	200,674
国民健康保険診療所事業	946,402	618,473	327,929
老人保健事業	1,764,361	1,764,357	4
介護保険事業(介護サービス事業を含む)	1,241,461	1,182,652	58,809
集落排水事業	207,766	187,768	19,998
簡易水道事業	364,403	227,178	137,225
財産区事業	4,714	344	4,370
工業用水道事業	30,285	33,525	※ △ 3,240
上那賀病院事業	437,012	498,794	△ 61,782
計	21,661,980	19,996,045	1,665,935

※不足分は前年度繰越利益剰余金で補填

基金の現在高

(単位：千円)

基金名	17年度末	基金名	17年度末
財政調整基金	1,193,107	大戸残土処理場運営基金	100,337
減債基金	729,746	ファガスの森高城基金	550
木沢地域防災センター建設基金	426,543	地域福祉基金	586,496
ふるさと創生基金	368,908	水と土保全基金	34,749
ふるさとの森基金	2,859	体育振興基金	4,352
環境保全基金	3,826	土地開発基金	349,925
総合交流促進施設大規模修繕基金	31,302	高額療養費貸付基金	4,258
公共用施設維持基金	54,845	奨学金貸付基金	49,431
鷲の里基金	12,828	国民健康保険財政調整基金	※ 191,568
相生小学校教育振興基金	6,760	介護保険介護給付費準備基金	※ 23,542
木頭体育館建設基金	293,012	簡易水道基金	※ 31,845
わじきラインキャンプ村基金	1,107	計	5,001,896
まちづくり事業基金	500,000		

※は特別会計

地方債の現在高

(単位：千円)

内訳	17年度末
一般会計	20,135,539
特別会計	3,644,677
計	23,780,216

